

タイトル「**2023年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4605		
科目名	ゼミナール I		
担当教員	辰田 和佳子		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	水 4		
講義室	1313	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP3-G〔状況把握力・判断力〕自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP4-F〔探究力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP5-J〔創造的挑戦力・達成力〕コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 DP8-M〔省察力〕知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 F1 探究と論拠（20%） G1 状況把握（30%） I1 理解・分析と読解（20%） I3 情報分析（20%） J2 創造的思考（10%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3発展期～4定着期		
科目概要・キーワード	学生が興味関心の高い分野を選択し、講読・調査・報告・議論などを行うことによって、研究を進める上での基礎知識、研究方法を学びます。ゼミナール I では、グループで課題を設定し、共同で研究を進めることで、互いに知識を修得していくことを目的とします。ここでは、学生自身が興味関心のある課題やそれに関わる種々の問題について、基礎的な理解を深め、それらについてプレゼンテーションを行う準備を整えます。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。 ■キーワード 研究、省察、反省的実践		
授業の趣旨	■副題 スポーツ科学に関する研究計画の立案および実践 ■授業の目的 学習した内容を基に自身もしくはグループでの研究計画の立案を行い、研究計画に関する議		

	論から適切な方法を選択することができることを目的とします。 ■授業のポイント 研究の進め方については、栄養・食生活の枠組みを用いて整理方法を修得します。また、論文抄読により、文献の読み方を学習します。	
総合到達目標	■有用な論文を収集する能力を養うために、栄養・食生活分野の実践研究における目的、方法、結果の整合性について考察することができる。 ・研究の意義、研究デザインや図表の説明ができる。（第2回～14回） ・論文の読み方を理解し、各論文の意義や考察を批判的に評価できる。（第2回～14回） ■具体的な研究計画を立案する能力を養うために、他者との議論を重ね、自身およびグループの研究テーマを検討することができる。 ・自分の身近な場面で生じた疑問点に関する先行研究を読み、わかっていること、わかっていないことを説明できる。（第10回～14回） ・論文抄読から、その研究の意義・重要性、改善点についての自分の考えを仲間と討議できる。（第10回～14回）	
成績評価方法	■授業内の課題発表1回（30%）：適用ルーブリックG1・I2・J2 （評価の観点）対象者、目的に見合った内容になっているかを評価します。 （フィードバックの方法）次週の授業で振り返りと解説をします。 ■プレゼンテーション2回（60%）：適用ルーブリックF1・I3 （評価の観点）抄読論文について、適切にまとめられているか、論文の強み弱みを理解できているかを評価します。 （フィードバックの方法）各回授業および15回目まとめの授業において解説をします。 ■授業参加度（10%）：適用ルーブリックF1・I3・J2 （評価の観点）発言、質問、意見の交換など、授業構築への参加を記録し評価します。 （フィードバックの方法）必要に応じて、授業内での講評を行います。	
履修条件	「スポーツ栄養学の基礎（SSCS2312）」を履修していること。	
履修上の注意点	本科目履修と同時に「スポーツ栄養学演習SSCS3612」を履修すること。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う。 ③予習（120分） シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（120分） ガイダンスによって説明された内容を踏まえ再度シラバスを確認し授業概要を確認しておく。
	2	①授業テーマ 研究とは何か ②授業概要 コーチング学研究法演習で学んだ研究の意義や方法について再度確認し、栄養・食生活領域の研究についての目的を検討することができる（F1）。 ③予習（120分） コーチング学研究法演習の研究の概要に関する授業資料を読み返し整理しておく。 ④復習（120分） 栄養・食生活分野の先行研究にはどのようなものがあるか自分なりに確認する。
	3	①授業テーマ 文献研究のための準備① ②授業概要 先行研究に関する文献を精読するための基礎知識として、行動理論および整理のためのモデルについて学習し、受講者が説明することができる（G1）。 ③予習（120分） 配布資料を読み、行動科学とは何かを整理しておく。 ④復習（120分） 講義およびディスカッション内容を整理し、理解の不足する項目について自分なりに再考する。
	4	①授業テーマ 文献研究のための準備②-1 ②授業概要

	先行研究に関する文献を精読するための基礎知識として、食生活を理論的に整理できる食生活の枠組みについて学習し、活用することができる（G1）。 ③予習（120分） 自身の食生活に関する項目を挙げ、整理しておく。 ④復習（120分） 講義およびディスカッション内容を整理し、理解の不足する項目について自分なりに再考する。
5	①授業テーマ 文献研究のための準備②-2 ②授業概要 先行研究に関する文献を精読するための基礎知識として、食生活を理論的に整理できる食生活の枠組みについて学習し、活用することができる（G1）。 ③予習（120分） 自身の食生活に関する項目を挙げ、整理しておく。 ④復習（120分） 講義およびディスカッション内容を整理し、理解の不足する項目について自分なりに再考する。
6	①授業テーマ 文献研究のための準備③ ②授業概要 先行研究に関する文献を精読するための基礎知識として、統計学手法について学び、受講者が先行研究の図表の意味を説明することができる（I1・I3）。 ③予習（120分） 第5回授業で示した統計に関する語句の意味を自分なりにまとめる。 ④復習（120分） 講義およびディスカッション内容を整理し、理解の不足する項目について自分なりに再考する。
7	①授業テーマ 文献研究①-1（横断研究） ②授業概要 先行研究に関する文献を精読し、文献の読み方および活用の仕方を具体的に学ぶ。研究目的および方法についての情報を整理し、受講者が説明することができる（I1）。 ③予習（120分） 第2回講義ノートを確認し、横断研究について確認をしておく。 ④復習（120分） 用いた論文を読み返し、自身の研究計画に活用できるよう整理しておく。
8	①授業テーマ 文献研究①-2（介入研究） ②授業概要 先行研究に関する文献を精読し、文献の読み方および活用の仕方を具体的に学ぶ。研究目的および方法についての情報を整理し、受講者が説明することができる（I1）。 ③予習（120分） 第2回講義ノートを確認し、横断研究について確認をしておく。 ④復習（120分） 用いた論文を読み返し、自身の研究計画に活用できるよう整理しておく。
9	①授業テーマ 文献研究①-3（実践研究） ②授業概要 先行研究に関する文献を精読し、文献の読み方および活用の仕方を具体的に学ぶ。研究目的および方法についての情報を整理し、受講者が説明することができる（I1）。 ③予習（120分） 第2回講義ノートを確認し、横断研究について確認をしておく。 ④復習（120分） 用いた論文を読み返し、自身の研究計画に活用できるよう整理しておく。
10	①授業テーマ 文献研究②-1 ②授業概要 先行研究に関する文献を精読し、その目的や研究方法、結果について議論およびその情報を整理し、説明することができる（I1・I3）。 ③予習（120分） 議論できるようにその文献を読み、自分なりに考察しておく。

	④復習（120分） 議論を踏まえ、文献を確認し、自身の研究計画に活用できる部分を整理しておく。
11	①授業テーマ 文献研究②-2 ②授業概要 先行研究に関する文献を精読し、その目的や研究方法、結果について議論およびその情報を整理し、説明することができる（I1・I3）。 ③予習（120分） 議論できるようにその文献を読み、自分なりに考察しておく。 ④復習（120分） 議論を踏まえ、文献を確認し、自身の研究計画に活用できる部分を整理しておく。
12	①授業テーマ 文献研究②-3 ②授業概要 先行研究に関する文献を精読し、その目的や研究方法、結果について議論およびその情報を整理し、説明することができる（I1・I3）。 ③予習（120分） 議論できるようにその文献を読み、自分なりに考察しておく。 ④復習（120分） 議論を踏まえ、文献を確認し、自身の研究計画に活用できる部分を整理しておく。
13	①授業テーマ 文献研究②-4 ②授業概要 先行研究に関する文献を精読し、その目的や研究方法、結果について議論およびその情報を整理し、説明することができる（I1・I3）。 ③予習（120分） 議論できるようにその文献を読み、自分なりに考察しておく。 ④復習（120分） 議論を踏まえ、文献を確認し、自身の研究計画に活用できる部分を整理しておく。
14	①授業テーマ 文献研究②-5 ②授業概要 先行研究に関する文献を精読し、その目的や研究方法、結果について議論およびその情報を整理し、説明することができる（I1・I3）。 ③予習（120分） 議論できるようにその文献を読み、自分なりに考察しておく。 ④復習（120分） 議論を踏まえ、文献を確認し、自身の研究計画に活用できる部分を整理しておく。
15	①授業テーマ ゼミナールⅠのまとめ ②授業概要 ゼミナールⅠで行われた授業内容を振り返り、ゼミナールⅡに向けて必要な情報を整理する（J2）。 ③予習（120分） 自身がゼミナール開始から収集、精読してきた文献に関する情報を整理しておく。 ④復習（120分） ゼミナールⅡに向けて必要な文献の整理を行っておく。
関連科目	「コーチング学研究法演習（SSCS2317）」
教科書	ありません。
参考書・参考URL	ありません。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー水曜3限。それ以外の時間については、メール等で事前にアポイントメントとることにより、研究室で対応します。
研究比率	

